



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

会 長 鈴木 勇
 副会長 関 敏行
 幹 事 岡 佐恵子
 副幹事 中村 義雄
 会長レク 飯島 博之

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 例会場 オークラフロンティアホテル海老名
 海老名市中央2-9-50 TEL046(235)4411
 事務局 海老名プライムタワー10階
 海老名市中央2-9-50 TEL046(233)5122
 編集 川島俊郎 加藤伸一 宮台 均 高田 浩

第763回例会

2012年(平成24年) 1月19日

会長 挨拶



皆様今日は。今日は風邪をひいてしまい頭が少し回りませんが、先日行われた会長幹事会のご報告をさせていただきます。

7月から始まった公式訪問も終了し、地区からは会員増強、クラブリーダーシップ強化、IM参加、GSEへの協力の他、各委員会報告がなされました。

2月19日に厚木RC主管で行われるIMは、13時登録18時30分終了で開催されます。講演には元自民党総裁の河野洋平氏をお迎えして開催されますので、よろしく

幹事 報告



763回例会出席報告

会員数	出席計算 会員数	出席	出席率	761回 修正出席率
29名	29名	20名	72.41%	96.55%

メイクアップ

海老名RCへ 飯島会員

《ガバナー事務所からのお知らせ》

- ★ ガバナー月信1月号が届いております
- ★ インターアクト1泊研修会参加協力のお願いが届きました。
期日：3/24（土）～3/25（日）
場所：厚木市立七沢自然ふれあいセンター
- ★ 次年度2012～2013年度のテーマは
「奉仕を通じて平和を」です
- ★ 地区補助金申請書案内（2012～2013年度）
申請期間：2012年01月16日～3月14日
プロジェクト実施機関：2012年7月1日～2013年4月30日（10ヶ月間）
- ★ 「新財団補助金に関する勉強会」の案内がまいりました。
日時：2月8日（水）14：30～16：30
場所：藤沢駅南口 第一相澤ビル6階会議室 ※2月1日（水）締切
- ★ 日本人親善朝食階についてのお願い
日時：5月6日（日）開 場 6：00
朝食会 6：30～8：00
場所：THE IMPERIAL QUEEN'S PARK HOTEL
締切日：3月26日（月）
- ★ 国際奉仕クラブ活動状況調査にご協力のお願いがまいりました。
※2月15日（水）締切日

《ロータリー日本事務局》より

ポール・ハリス・フェロー認証品及びピンが届きました。

《ロータリー米山記念奨学会》より

ロータリー米山功労者への感謝状が届きました。

《海老名市少年野球連盟》より

平成23年度海老名市少年野球連盟納会への出席依頼が届きました。

日時：2月4日（土）開宴 午後6時30分

場所：ザ・ウイングス 締切1月25日（水）

《厚木ロータリークラブ》より

IM登録料についてのお願いが届きました。

※締切1月31日（火）

《大和ロータリークラブ》より

創立50周年記念式典の案内がまいりました。

《海老名市政策事業推進課》より

えびなの森創造事業推進会議 平成23年度第2回（解散）総会開催について

日時 2月22日（水）13時30分か

場所 海老名市役所 401 会議室

《週報受理》

相模原東RC・相模原グリーンRC・相模原南RC・大和田園RC

《例会変更のお知らせ》

卓上のメモをご覧ください。

以上

<お祝い行事>



誕生祝い 1月5日 三部会員



誕生祝い 1月1日 高田会員



結婚記念日 1月11日 鈴木会長

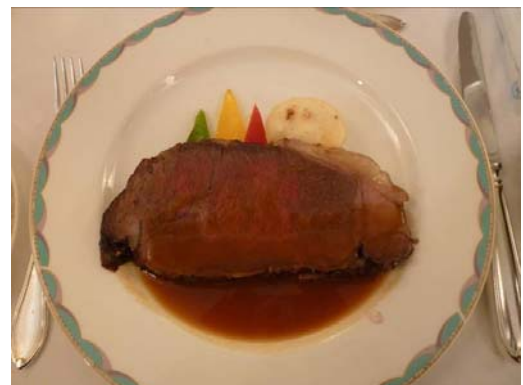


ポールハリス・フェローを受けた面々



交換留学生だったハンナから餽が届きました！

<本日のメニュー>





「ソウル・オブ・アフリカ」

南アフリカのロータリアンが、大手靴会社と提携し、エイズ孤児やその他の恵まれない子供たちを支援しています。同国の中でもエイズ多発地域であるクワズール・ナタール州に、ロータリアンと靴会社が協同でコミュニティー育児センターを建設し、設備を整えました。

ヒルクレスト・ロータリー・クラブ会員で、「ソウル・オブ・アフリカ」プロジェクトの実行委員長、パット・ドレイパーさんは、この靴会社との提携は理想的であると言います。2005年にプロジェクトが開始されて以来、ロータリー財団から2件のマッチング・グラントを受け、保育士に育児の研修を提供するとともに、10以上のセンターに教育用玩具、備品、トイレ、水給水タンク、遊び場やその他の設備を備え付けました。この補助金は建設目的には使えませんが、折よく、特別な靴の販売を通じてHIV／エイズのために集めた資金を信頼のおける慈善団体に委託したいと考えていたこの靴会社に、ロータリアンたちが財政的支援を働きかけたのでした。

この靴は、靴底にエイズとの闘いを象徴するリボンが地元の女性たちによる手縫いでほどこされています。これらの靴は、インターネットおよび英国と南アフリカと米国の小売店で販売され、純収益はすべてプロジェクトの支援に充てられます。

育児センターでは、HIV／エイズの影響を受けた家庭出身の年齢1～5歳の子供に総合的な支援を提供しています。ゆくゆくは、プログラムの対象をより年長の兄弟姉妹や他の介護者にまで広げながら、他の地域社会にも支援を拡大したいということで、11月には、センターのひとつ、Khethokuhleがオープンしました。

「ソウル・オブ・アフリカ」プロジェクトが始まる前、南アフリカのロータリアンは、クワズール・ナタール州のLily of the Valley(谷間のゆり)など、グループホームに焦点を当てて活動していました。しかし、それだけでは十分ではありませんでした。というのも、2010年までには、南アフリカの孤児の数は推定200万人に達すると考えられているからです。この危機的な状況に誰かが介入しない限り、私たちの国、南アフリカは経済的にも社会的にも深刻な麻痺状態に陥るでしょう」とドレイパーさんは述べます。

このプロジェクトの協同提唱者は、第7080地区(カナダ、オンタリオ州)と第9270地区(南アフリカ)のロータリアンです。第9270地区には100万ランド(米貨132,013ドル)の寄付が寄せられ、ドレイパーさんによると、他のプロジェクトのためにさらに100万ランドが用意されているということです。